

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援工房 田島教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	77	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ワーキングメモリの向上を目的としたカリキュラム学習とタブレット学習を行っている。	独自のタブレット学習ソフトを使用し、ワーキングメモリの向上に特化した学習を行っている。タブレット学習で得られたデータを保護者様にも共有を行っている。	
2	保護者様のレスパイトを目的とし、ご自宅での負担も軽減出来るように支援を行っている。	保護者様のニーズに合わせて宿題等の学習補助を行い、保護者様のご負担の軽減を図っている。 また、室内活動を中心とし、室内で落ち着いて過ごす事や他者との距離感を意識しながら過ごせる様に支援を行っている。	
3	複数の教室で連携をしながら、ニーズに応じた受け入れ態勢や包括的な支援を行っている。	併用教室と連携を図り、出来る限り利用者様のスケジュールやニーズに応じた日数をご利用いただける様な受け入れ態勢を整えている。 また、併用教室とも連携し、共通の支援方法や情報共有を行っている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流をする機会が少ない。	地域住民との交流の機会は作れていないが、個人情報等の観点から考えると教室のすぐ近くの住民との交流機会を作るのは難しい部分がある。	すぐ近くの地域との交流と考えると難しさはあるが、福岡全体を地域と考えるならば、教室所在地位から離れた地域のイベント参加や交流は可能かもしれない。
2	高年齢の利用者様への取り組み。	利用の多いメインの学齢(小学生)向けの取り組みが多い為、高年齢の利用者様へは通っていただくモチベーション作りが難しくなる場合がある。	学習補助や勉強時間の確保、一日の中で学校以外でも学習する時間を習慣化するという様な意味での貢献を行っていく。 また、いろんな学齢の生徒さんと関わることで様々な年齢層の人とのコミュニケーションをする場としていく。
3			